

連

載

埼玉県健康経営トップランナー企業の取り組み

昨今、健康経営を経営戦略として積極的に取り組む企業が増えてきました。経済産業省などが健康経営を進める企業を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」の中小規模法人部門で今年度19,796 法人が認定を受けました。そのうち上位 500 に認定された埼玉県の【ブライト 500】の企業の先進的な取り組み事例を連載でご紹介していきます。

キャリア & ライフサポーターズ株式会社 代表取締役社長 ^{ささお} 笹尾 ^{よしこ} 佳子

リクルートから東京電力に転職。関連会社で 20 億円の赤字を抱えていた介護会社を 2 年で V 字回復。中堅ゼネコンで人事役員を経験した後、健康経営コンサルタントの会社を立ち上げる。(法政大学評議員、中小企業診断士、健康経営エキスパートアドバイザー、介護福祉士、キャリアコンサルタント)



第

2 回

健康経営を QC 活動に取り入れ、徹底的に PDCA を回し、革新し続ける老舗企業

増幸産業は、ダイヤモンド以外のあらゆる物質のナノメートル化に挑み磨砕技術で世界に貢献している創業 220 年、設立 102 年の老舗企業です。健康経営の取り組みは 2017 年と早く、様々な革新的な取り組みを実施し、2022 年度より健康経営優良法人の上位 500 社であるブライト 500 に 3 年連続選出されました。

健康経営を始めた背景

老舗企業ではありますが、良いことは他社に先駆けて取り入れ、挑戦していこうという革新的風土があります。「社員も会社も健康であることが大切」と考える増幸産業の健康経営に関しての取り組みは早く、バランスボールに座って会議を実施

することや毎月最終金曜日にプレミアムフライデーの設定等アイデアあふれる施策を実施してきました。特に QC 活動に健康経営を含め徹底的に活動していることが大きな特徴です。

半年ごとの目標設定に業績目標と健康目標も設定し、例えば、「1 日 1 万歩歩く」「川口マラソン完走」等が個人ごとに設定され、会社のいろいろなところに掲示されています。また、2 か月に 1 回の上司との面談は、健康目標の進捗状況の確認も行い、達成した場合は、金一封がでます。これほど徹底して実施する理由は、個人の健康目標は、業績目標よりも自己完結して実施できるために成果が出しやすい傾向があるからです。健康に関しての成功体験を経験することで、PDCA を回すことが楽しくなり、仕事に関しても主体的に行動できる社員を育て、新しいことに挑戦できる組織風土を醸成したいとのことです。

Company Profile

社名：増幸産業株式会社

住所：埼玉県川口市

創業：1804 年

代表者名：増田幸也

従業員数：25 名

売上：10 億円（2023 年度）

事業内容：超微粒化技術の開発

<https://www.masuko.com/>



増田社長

取り組み事例とその成果

健康診断受診 100% は、もちろんのこと、2 次検診の受診も 100% 達成しています。40 歳以上の社員には人間ドック費用、50 歳以上の社員には脳ドック費用を全額負担しています。また、年 1 ～ 2 回、保健師による約 20 分のオンライン健康面談を実施し、「社員が面談を通じて健康への関心が高ま

り、歩くことが習慣化されたり、血圧など健康に関する会話をしたりするようになった」とのことです。さらには、顧問社労士（メンタルヘルス法務主任者）と産業医による社員のバックアップ体制も構築しています。また、毎日のラジオ体操実施や毎年 10 月に行うウォーキング大会では、チームごとに 40km の道のりを約 12 時間かけて歩きます。

2022 年は東京五輪のマラソン競技で使われる予定だったコースを歩きました。これは社員が健康を考える契機になるとともに、コミュニケーションの場としても役立っているそうです。これらさまざまな取り組みにより高ストレスの方もストレスチェック開始当初の 2020 年度 9 人から 2024 年度は 3 人に減少し、「1 日なんらかの運動をしている人」の割合が 2024 年度には 7 割以上となり社員の心身の健康はある程度実現できるようになりました。

もちろん、健康面だけではなく、仕事面においても業務や品質改善の PDCA を徹底的に回すことにより、コロナ禍であっても業績が落ちることなく、右肩あがりの成長を続けているそうです。取材に伺ったときに、入口で工場の方が、何人も心地よい挨拶をされる場面に出会い、驚きを隠せませんでした。これが、まさに、増幸産業の強みであり、企業価値ではないかと感じた瞬間でした。

取材を終えて

QC 活動に健康経営を取り入れ、徹底的に PDCA をまわすことで、健康面でも社員に成功体験をつ



40 キロ歩くウォーキング大会

ませ、健康に対して主体的に行動できる社員を育てることで、ワーク・エンゲージメントをあげ、業績貢献に結び付けようとしていることがとても革新的だと感じました。設立 102 年の歴史のある企業だからこそ、常に良いものは貪欲に取り入れ、組織変革を推進することを意識されています。

社員の心身の健康に関しては、さまざまな新しい施策を取り入れて、一定レベルの状態になりましたので、今後は、20 年を超えた「5S 活動」を進化させ、「Super6S ミライ活動＜創造、進化、成功、成長、深奏、幸福＞」を掲げています。あらゆるプロセスに「心」をこめ、「自工程完結企業」を目指し、健康経営と合致させることにより、社員の働きがいと幸福を感じられるものにしていきたいとのことです。健康経営を推進することによって社員の働きがいと幸福の実現まで結びつけられる企業はまだ稀有な状態ですが、ぜひ、実現に向けて推進していただきたいと思います。



「SUPER 6S ミライ活動」は 2013 年よりマイナーチェンジを続けています